

平成 21 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策、 地域公共政策コース
専門科目	民法

【第1問】 Bは、A所有の家屋につきAと賃貸借契約を締結した。その後、賃貸借契約が終了したため、AがBに対して家屋の明け渡しを請求した。この場合における以下の問いに答えなさい。

- ① Bが賃借期間中に屋根の修繕のために費用を支出していた場合、BはAから費用の償還を受けていないことを理由として、引き続きその家屋に居住することができるか。
- ② その費用支出が賃料不払いによる賃貸借契約の解除後になされた場合はどうなるか。

【第2問】 一筆の土地を所有するXが死亡した。Xの相続人は嫡出子AとBの2人のみである。この場合における以下の問いに答えなさい。

- ① Aが遺産分割協議書を偽造してA単独で相続した旨の登記をなし、この登記を信託したCに当該土地を譲渡して登記を移転した。Bは自己の持分権をCに対して主張できるか。
- ② Aが相続を放棄してBが当該土地の単独所有者となったが、Bの登記前にAの債権者Dが代位による共同相続の登記を行った上でAの持分につき差し押さえを行った。Bは登記なしにDに対して所有権の取得を主張できるか。
- ③ 遺産分割協議の結果、Bが当該土地の単独所有者となったが、その旨の登記をなす前にAが自己の持分をEに譲渡した。Bは登記なしにEに対して所有権の取得を主張できるか。